

私立大学情報教育協会
平成25年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

E-3班 SATUMA

1

発表テーマ

キャリア支援教育
(人材育成と輩出)

2

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

研究機関としての場
人材の育成と輩出

役割を果たすために、大学は何をしなればいけないのか

企業が求める人材を輩出する

・人間力(コミュニケーション力、提案力、自主性、柔軟性、適応力)のある人材
・専門性を持った学生

3

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

現状、離職率の高さ等から見ると、企業と学生のミスマッチがあるのではないかと、ミスマッチの原因としては、大学として人材育成がうまくいっていない部分があるのではないかと、主体性のある学生が少ないのではないかと。

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

現在、人材育成のための施設環境が整ってはいるが、受動的な学生が多いために活用されていないものも多々存在する。

そのため職員としてはそのための能動的な働きかけが必要。

学生が主体的な学びを行うための意識付けが必要。

学生のニーズにあったツールの利活用を目指し、そのための教員の理解を得る。

(SNSやスマートフォンの利用、学生のニーズをデータで提示、職員の提案力)

学生・教員・職員・企業の連携が必要

4

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

入学前の説明会等でも卒業後の就職先の質問も多く、大学としてのニーズが高まっていることを踏まえて…

離職率が高くなっている現状をふまえ…



キャリア支援教育の中の人材育成

5

問題点の深堀

他グループと問題点を共有するために、グループ討議で話し合われたことを列挙する。

- ・キャリアの施設等の環境は整っているが活用が少ない
- ・学生の意識が伴っていない。(利用する学生が限られている)
- ・離職率が高くなっている
- ・仕事等を行うにあたっての人間力をあげるためのサポートはできているのか。

6

解決策の検討

他グループと、解決策が導き出されたプロセスや、背景にある考え方を共有するために、グループ討議で話し合われたことを整理して記載する。

・4年間を通じての人間力を構築するためのサポート体制をつくる

ステップ1

学生のニーズにあったツール(SNS等)を活用し、主体的な活動への意識付けを行う。

ステップ2

目標を持って学修するように仕向ける。

(e-ポートフォリオ等の活用)

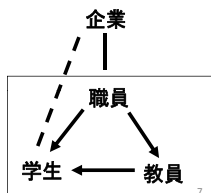
ステップ3

主体的な学びの場を提供する(e-learning等)

キャリア支援室等の活用

ステップ4

企業、教員、職員で連携をとり、学生の輩出する。



7

大学のイノベーションの提案

・概要

4年間を通じての人間力を構築するためのサポート体制を強化する。

現在は企業と学生の就職後のミスマッチにより、離職率の増加が問題になっている。

4年間を通じての人間力を構築するためのサポート体制実現するためには、大学として学生の

ニーズにあったツールを活用し、今までの受動的な体制から能動的な体制を意識付けさせ、

段階的に目標をもって修学していき、人間力の高い学生の輩出を目指す。

そして、目標をもって社会で活躍できる人材を育成・輩出できる大学を目指す。

8